

# 手話は目で見る言語

福祉課 ☎32-8010 FAX34-3388

突然ですが皆さん、次の手話は何を意味しているか分かりますか？



正解は「みよし」です。①は「三」、②・③は「好き」を表しており、その2つの漢字を合わせて「三好」。これらはかつて西加茂郡三好町だった頃に手話使用者によ

って考案され、みよし市になった今でも使われています。今回の特集では手話についてと市の取り組み、市内で活躍する人たちなどを紹介します。

## 手話ってなんだろう？

手話とは聴覚に障がいのある人が使う「目で見る言語」で、話し言葉などの「耳で聞く言語」とは異なる一つの言語です。手や指、腕を使って文字を表現するだけでなく、顔の表情や視線、体の動きなどによって考えや気持ちなど、さまざまな事柄を視覚的に表現しています。聴覚に障がいのある人にとって手話は、生活していくために欠かせないとても重要な言語です。



## 手話はどうやってできたの？

古くから、聴覚に障がいのある人は家族や身近な人とだけ通じる身ぶりを情報伝達的手段としてきました。明治11(1878)年、古河<sup>ふるかわ</sup>太四郎<sup>たしろう</sup>が創立した「京都盲啞院(現在の京都府立聾学校)」において、日本で初めて手話などを活用した教育が開始されました。これをきっかけに、全国的な規模で手話が用いられるようになったとされています。

## 手話は外国でも使えるの？

日本で多く用いられている手話は、世界共通言語ではありません。聴覚に障がいのある人の国際的スポーツ大会であるデフリンピックや、世界的な交流の場である世界ろう者会議などの場では、さまざまな国の人にとって分かりやすい身ぶりや表現の「国際手話」が公用語として用いられています。これは令和3(2021)年に開催された東京オリンピック・パラリンピックでも活用されました。



## 聴覚に障がいのある市民に、思いを聞きました

パソコンやスマートフォンの発達で、病院の予約や公共手続きなど不便さは昔と比べて少なくなりましたが、それでも普段の生活で困ることはあります。例えばクレジットカードを紛失した時です。カード会社へ連絡をするのに、自分では電話ができないので家族にお願いしても本人以外は受け付けてもらえないなど、説明が大変でした。聴覚障がい者への理解がまだまだ世の中に浸透しているとは言えません。私の願いは皆さんが手話を何か一つ、簡単なあいさつでもいいから覚えてほしい、ということです。そこからお互いのコミュニケーションが始まります。それが聴覚障がい者が日々感じていることの理解への一歩目になると思います。



## 市の取り組み

令和5(2023)年4月1日現在、聴覚障がいのため障がい者手帳を持っている市民は約150人います。市では障がいの有無にかかわらず誰もが安心して公共サービスを受けられるよう、次のような取り組みをしています。

### ■ 市役所に手話通訳者を配置しています

聴覚に障がいのある人が市役所の窓口で手続きや相談などを安心して行えるよう、火・金曜日9:00~15:00に手話通訳者を配置しています。事前予約は不要です。まずは福祉課の窓口へお気軽にご相談ください。



手話で「I LOVE YOU」

よしだよしみつ  
芳田善満さん(火曜日)

手話で意思疎通を支援することが手話通訳者の仕事であり、文字どおり、支えて応援する立場だと思っています。舞台上で活躍する黒子のように、注目されることはありませんが大切な役割を担っていると思って働いています。

手話通訳者として福祉課に就いて3年目になり、日々分かりやすい対応ができるように心がけています。生活の中で困ったことや知りたいことがあったら手話通訳者がいる時間に来庁してください。お待ちしております。



手話で「仲良し」

まつもとちづる  
松本千鶴さん(金曜日)



▲手話マーク

### ■ 手話通訳者・要約筆記者を派遣します

聴覚に障がいのある人のコミュニケーションを支援するために、県内の公的機関・医療機関などに手話通訳者・要約筆記者を派遣しています。

**対象** 市内在住で、コミュニケーションを図るために手話通訳・要約筆記を必要とする人

**費用** 無料    **申込** 福祉課へ直接

# あなたも手話で活躍しませんか？

手話を覚えることで、手話でつながる社会を実現するために活躍することができます。あなたも手話で社会を支える人になりませんか。

## 手話奉仕員養成講座

市では、聴覚障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に手話奉仕員の養成を行っています。一年をかけて実施する講座の中で、日常生活での初歩的なコミュニケーション支援ができる手話技術の習得を目指します。また聴覚障がい者の生活に関する現状を学ぶことで、聴覚障がい者への理解を深めます。募集時期は例年4月です。詳しくは福祉課までお問い合わせください。

**内容** 自己紹介、簡単な日常会話、文法、分かりやすい表現など

**期間** 例年5月～3月で開催(全43回) **場所** サンライズ

**対象** 市内在住・在勤・在学で15歳以上(中学生は除く)

**定員** 20人 **費用** 無料(テキスト代が別途必要)



▲8月23日(水)に行われた講座では、パーティーや家族旅行などの場面を想定し手話で表現していました。

### ◆受講者の声



中橋さん

受講のきっかけは、知合いの聴覚障がい者と手話で会話したいと思ったからです。テレビやYouTubeで自主勉強していますが、講座は直接講師から教えていただき質問ができるのでより分かりやすいです。受講後も勉強を続け、手話通訳士として活動することが私の夢です。

受講のきっかけは、知合いの聴覚障がい者と手話で会話したいと思ったからです。テレビやYouTubeで自主勉強していますが、講座は直接講師から教えていただき質問ができるのでより分かりやすいです。受講後も勉強を続け、手話通訳士として活動することが私の夢です。

手話を習いたいと思ったきっかけは、自身が副理事を務めるNPO法人の美術教室に聴覚障がい者がいらしたことです。



久野さん

筆談よりも手話で話す方が楽しそうに見えたので、私も手話で話してみたいと思いました。手話は難しいですが、そんな日を夢見ながらがんばっています。

### ◆講師の声



きこえない講師の  
ほしのかおり  
星野香さん

手話で伝え合う楽しさを知り、手話で日常会話ができるようになることを目標に指導しています。手話は言語であり、手の形や位置、動きに加えて表情や強弱などで表し「目」で見て理解する言葉です。受講者は習った手話表現を何度も繰り返し、自分で表現できるようがんばっています。今後の上達を楽しみに期待しています。

▶手話でのコミュニケーション力をさらに高めるために愛知県では毎年、手話奉仕員養成講座の修了者を対象に「手話レベルアップ講座」を開催しています。詳しくは福祉課までお問い合わせください。

# 私たちと一緒に手話サークルで楽しみましょう！

## ■ 手話サークル「スマイル」



私たち「スマイル」は平成19(2007)年に発足し、聴覚障がい者への理解を深め手話技術の習得と向上を目指すことを目的に活動しています。手話の単語を覚えるだけではなく、ゲームをしたり、表情や視線の動かし方の大切さも学んだりしながら表現方法を勉強しています。勉強中の脱線も多々あり、常に笑顔の絶えない楽しい時間を過ごしています。手話に興味をお持ちの人は、活動日にお気軽に見学にお越しください。

**日時** 毎週水曜日19:00～20:45

**場所** サンライブ3階 **会員数** 22人

## ■ 手話サークル「しゅわしゅわ」



平成27(2015)年の手話奉仕員養成講座が修了した後、手話を続けたい仲間が集まって私たち「しゅわしゅわ」が結成されました。手話で日常会話ができるよう、聴覚障がい者・聴者が「楽しく学ぶ！」をモットーに交流しております。手話検定に挑戦したり、時にはAED講習などにみんなで出かけたりもします。「ありがとう・おいしい・大丈夫」これが私たちの好きな手話です。活動日にぜひ見学にお越しください。

**日時** 毎週木曜日10:00～12:00

**場所** サンライブ3階 **会員数** 13人

## やってみよう！ 手話であいさつ



### 「おはよう」

片手のこぶしをこめかみあたりに置き、そのまま下げる。起きて枕を外すイメージ



### 「ありがとう」

左手の甲に、垂直に立てた右手を軽くトんと当て、上げる



### 「こんにちは」

片手の人差し指と中指をそろえて立てて、額に当てる。時計の針で12時を指すイメージ



### 「こんばんは」

左右に上げた両手のひらを、胸の前で交差させる。夜になりカーテンを閉めるイメージ

あなたの生活する地域にも、聴覚障がいにより日常生活の困難さを感じている人がいます。まずは手話でコミュニケーションしてみましょう。全ての人が障がいの有無によって分け隔てなく、安心して生活することができる共生社会をつくる一歩を踏み出してみませんか。

